



潮中だより

鍛錬・尊敬・愛情・感謝
令和8年2月18日第13号
芦屋市立潮見中学校

令和7年度「学校評価（自己評価）アンケート調査」の結果

学校評価（自己評価）の結果と課題や今後の対応について報告いたします。

教職員が潮見中学校の令和7年度を振り返って自己評価したものです。

完全に肯定的に評価できる場合を100%として、75%以上をA、50%以上75%未満をB、25%以上50%未満をC、25%未満をDとしています（裏面グラフでは左からABCDの順です。）

【35項目の中で特徴的なもの】

○4：学習指導

生徒へのタブレット端末貸与から約5年経過し、今年度末には新端末の更新となります。教員のスキルもアップし、個別最適な学びの実現にも寄与しております。一方、個人のスマートフォンの使用も含めて「情報モラル」については、課題も出てきております。ご家庭での使用も多くなり、保護者の方のご理解とご協力が不可欠ですので、ご家庭とも連携して指導を続けてまいります。

○19：防災安全教育

本年度も、計画的に避難訓練を実施し、休み時間に地震が発生したという想定で訓練を行うなど実践的な訓練をおこなってきました。1. 17追悼集会でも、ヴィッセル神戸の講師の方のお話から、命の大切さや地域への思いを改めて考えました。今後とも防災意識の向上に取り組んでまいります。

○8、9：生徒指導

毎学期実施の「学校生活アンケート」や生活ノートも活かして生徒理解・相談体制の充実を図っておりますが、保護者や生徒からのアンケート結果（第12号掲載）も重く受け止め、「わくわくルーム」（校内サポートルーム）の充実など更なる相談しやすい体制づくりに取り組んでまいります。

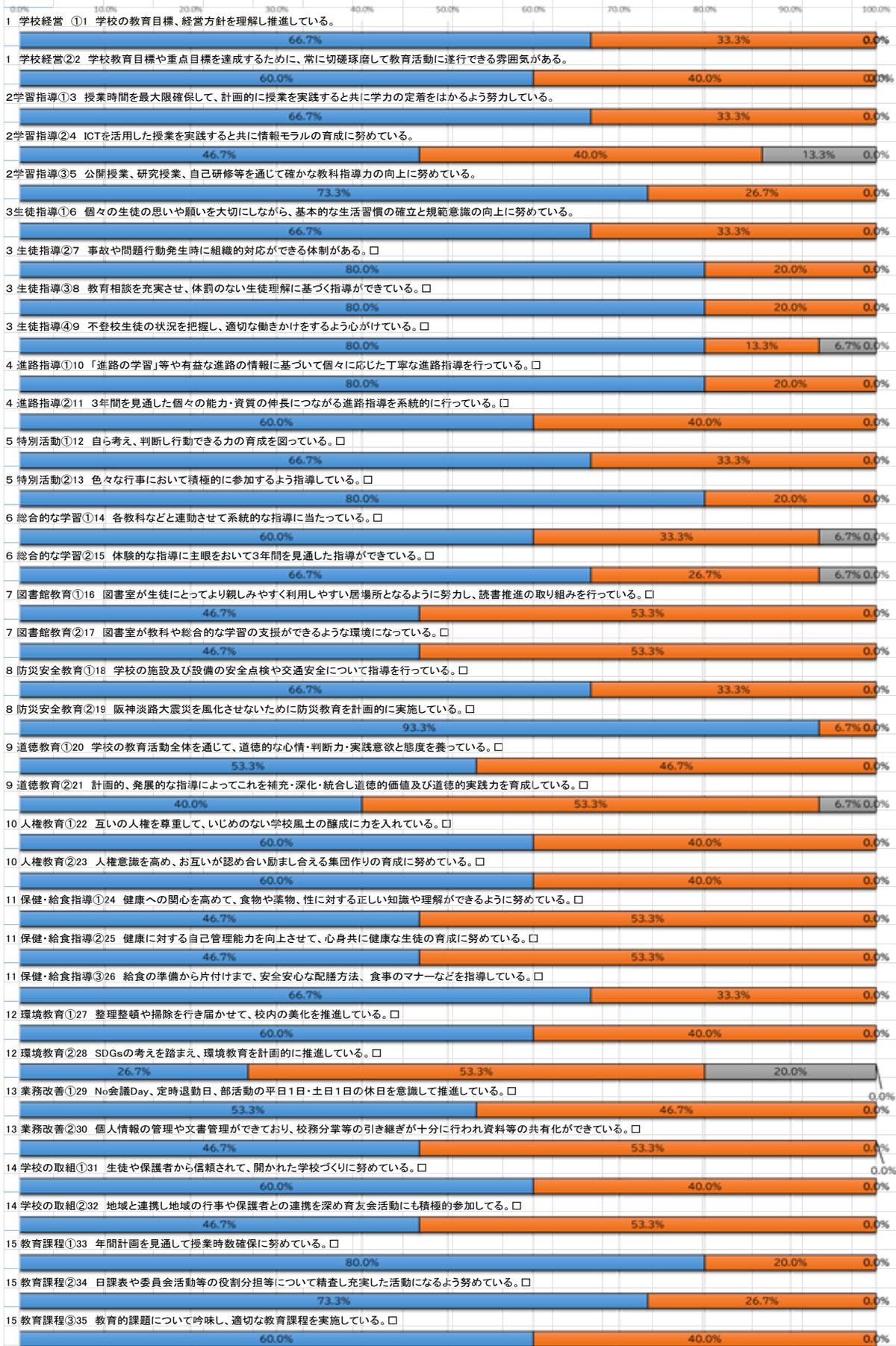
○33：教育課程

文科省からの提言により、標準時数を大きく上回る学校は、子どもの負担軽減や教員の働き方改革の観点から是正を求められています。本校でも、年間に必要な時数を確保しつつ、カリキュラムマネジメントを推進し、オープンスクール等も設定して開かれた学校づくりを進めてまいります。

○28：環境教育

SDGsの推進については理解している教員が多いものの、授業での実際の関連付けがまだ不十分と感じている教員がいるのが現状です。今後とも、各教科や総合的な学習で、企業連携を取り入れたり、探究活動を推進したりするなどの取り組みを進めていきます。

学校評価(15領域に対する評価)【令和7年度教職員用】



(肯定的な評価が75%以上は4 50%以上75%未満は3 25%以上50%未満は2 25%未満は1と評価する)